

3班一日班外出

5月8日(火) 利用者18名 職員5名
和歌山県立自然博物館 黒潮市場

5月8日(火)に3班のご利用者と一緒に和歌山県海南市にある「黒潮市場」と「和歌山県立自然博物館」に行ってきました。

あいにくの雨でしたが、皆さん前日から「明日、楽しみやなあ」とおっしゃっておられ、とても嬉しそうな表情でバスに乗車されていました。黒潮市場にて事前に選んでいただいていたご飯を食べて、ジュースを飲んだり、ソフトクリームを食べたりとゆっくりと昼食時間を楽しめました。

昼食後に和歌山県立自然博物館

へ行き、水族館や昆虫の標本、化石を見学されています。水族館にはウミガメの赤ちゃんも泳いでおり、皆さん「可愛いなあ。」と顔を見合わせておしゃべりされている様子が印象的でした。

皆さんとても良い笑顔で、楽しい思い出作りが出来たのではないかと思います。怪我や事故等もなく安全かつ円滑に外出を終えることができました。今回も多数の方に参加していただきありがとうございます。

支援員 佐賀 永治



4班一日班外出

5月16日(水) 利用者8名 職員3名
新和歌浦 片男波公園

5月16日(水)に和歌山県にある片男波海水浴場に班外出で出かけました。

今回はバーベキューを実施いたしました。天候にも恵まれ、無事におこなうことができました。

ご利用者の皆様は焼いている所を見て、「いまかいまか」とわくわく

されたご様子で待っておられ、焼きあがったお肉をととても楽しそうに食べておられました。

みなさま楽しんでいただけた様子で日頃の作業での疲れをリフレッシュしていただけたようでした。

支援員 庄野 達哉



福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 ～初任者編～

平成30年5月18日、5月25日、5月30日の3日間にわたり「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程～初任者編～」の研修を受講させていただきました。教育研修コンサルタントダブルアイズ代表岩井美詠子氏、社会福祉法人ノーマライゼーション協会常務理事地域福祉推進企画室長小西寿一氏より、各々講演がありました。

まず1日目に研修オリエンテーションをおこない、事前に頂いていた課題をもとに各班6人のグループに分かれ、相互紹介をおこないました。その際に、話す側は笑顔で顔は前にしっかり向け、肩甲骨を広げ背筋を伸ばして話すこと、聞く側は、顔を下に向けず、話している人の顔を見て恐い顔ではなく笑顔を向け、聴く姿勢をみせることが大切であると話されていて、話す際、聴く際に常に笑顔に気を付けていきたいと思いました。

2日目は福祉サービスにおける人権の視点についての話と福祉の組織人としての心得、コミュニケーションについて学びました。まず福祉サービスにおける人権の視点についての話で自分が思う人権についてグループワークをおこないました。人によって人権についてのイメージが異なっており、自分が思う人権についてのイメージを再度深める良い機会になりました。福祉の組織人としての心得、コミュニケーションについての話では、ハウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）は組織で働く者の義務であり人間関係を円滑にすることにも繋がると話されていて、自分もきちんと職場でハウレンソウを意識して働きたいと思いました。またコミュニケーションについては4原則として「観る」「聴く」「確認する」「共感する」があり、話す時は説明は簡

潔にかつ、相手の時間を取らないこと、聞く時はしっかりと反応をみせて、相手の話を自分の言葉で要約し、確認して話を聞くというより、話そうとして話きれない、その「疼き」を聞くことが重要であると話されていて、自分も職場でご利用者様に実践していこうと思います。

3日目は福祉職員としての能力開発についての話と、福祉職員としての行動指針の策定・自身のキャリアデザインとアクションプランの策定についてグループワークをおこないました。福祉職員の能力開発の話では、「知らない」「学んでいない」「できない」は禁句であり、「できない」のであれば素直に聞いて教えてもらう事が大切であり、「知識は自分の財産」であり、観察力・聴く力を身につけようという言葉がすごく印象に残りました。

グループワークではさまざまな意見を出し合い、グループ討議する事で福祉職員として将来の自分を考えることに参考になりました。今回の3日間の研修でグループワークや学んだことをキャリアアップと共に職場でも活かしていけるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

支援員 藤本 翼

